

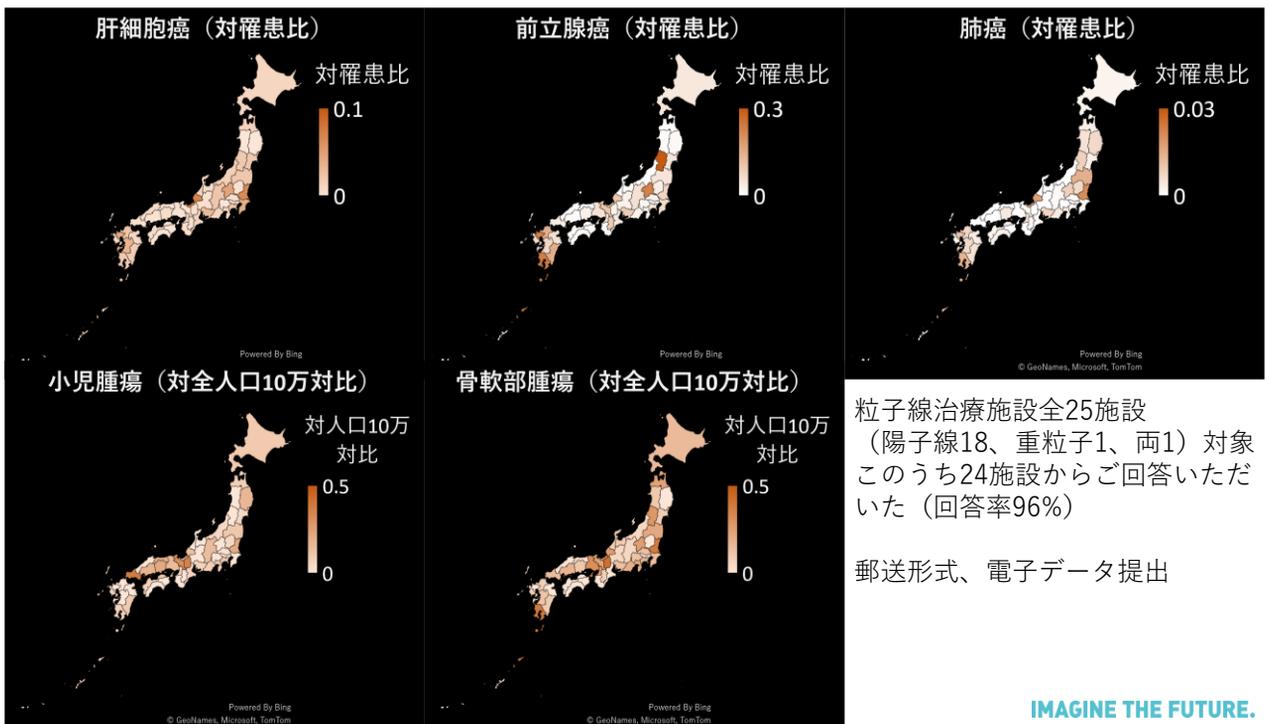
粒子線治療の 提供体制構築にむけて

アンケート調査報告
筑波大学
牧島弘和、櫻井英幸



IMAGINE THE FUTURE.

1



IMAGINE THE FUTURE.

2

粒子線治療施設を対象とし居住都道府県別の治療患者者数を調査 —疾患別，地域別の粒子線治療実施率を算出—

- ・ 粒子線治療施設を有する地域（県）での実施率が高い
- ・ 粒子線治療施設のない地域（県）での実施率が低い（例えば四国）
- ・ 稀少癌である小児腫瘍や骨軟部腫瘍は，比較的均等に実施
→ 県境を越えた紹介が行われている
- ・ コモンキャンサーでは，肝癌で比較的均等に実施
→ 粒子線治療が相対的に理解され利用され始めている
- ・ コモンキャンサーでは，前立腺癌、肺癌では地域による差が顕著
→ 県境を越えてまで紹介されていない
→ 前立腺癌では山形，群馬，佐賀，鹿児島が特に実施率が高い



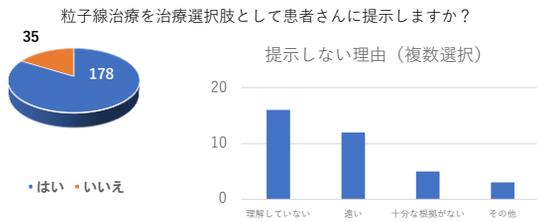
IMAGINE THE FUTURE.

3

粒子線治療の提供体制構築にむけて

調査 2：がん診療拠点病院を対象として

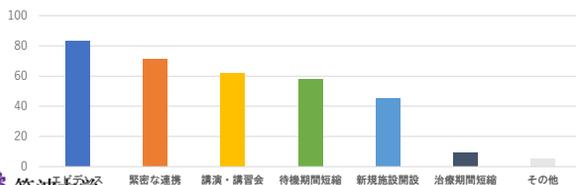
粒子線治療施設への紹介にあたっての要望，その他、粒子線治療、粒子線治療施設に対する要望



都道府県がん診療連携拠点病院 51施設
 地域がん診療連携拠点病院（高度型） 55施設
 地域がん診療連携拠点病院 293施設
 全399施設から粒子線治療施設を除いた386施設が対象
 このうち213施設からご回答いただいた（回答率55%）



どのようなことがあれば、より積極的に粒子線治療を薦めたいと思いますか？
 （複数選択）



回答のあった施設のうち87%では粒子線治療を治療法の一つとして患者に提示されていた。
 治療法として提示しない、最も多い理由は粒子線治療がわからないこと、次いでアクセス性であった。
 また、エビデンスの構築，病院間の連携，教育，待機時間などの問題点が指摘された。



IMAGINE THE FUTURE.

4